

令和5年度

歴史講座 報告録



令和5年は、大網白里市にとっては市制施行10周年、千葉県誕生150周年の記念すべき年であることから、関係機関等と協力し、昨年度よりも規模を拡大して歴史講座を開催いたしました。講座の内容としては、十枝雄三翁の三大功績、明治初期の小学校、日露戦争の3つのテーマから郷土の近代史を学ぶもので、合計で200名近い受講者がありました。

本紙にて、当日の様子を簡単にご紹介します。

作成者：大網白里市図書館
作成日：令和6年3月13日(水)



名誉町民十枝雄三翁の三大功績について
「両総用水・小中池町村合併を例に」

十枝雄三翁生誕150周年！



講師：古山 豊 先生
(市文化財審議会委員)

昭和31年7月、当時の大網白里町は十枝雄三翁を名誉町民第一号に推戴しました。十枝翁の功績に於いて最も有名なものに、昭和18年に両総用排水事業として国に認証された22年の歳月をかけて完成に至った両総用水があります。

今回の講座では、十枝翁が生涯を捧げた両総用水や小中川水利事業が必要となった歴史的背景や完成までの苦難、そして昭和29年の大網町・増穂村・白里町の合併による大網白里町誕生に関して学びました。

また、会場ロビーでは、市文化協会の協力により十枝雄三生誕一五〇周年の写真展示が行われ、多くの来場者に歴史を伝えました。

古山先生・市文化協会の皆様、ありがとうございました。

写真展示の様子

2023.11.19

明治初期、房総の教育と地域



2023.11.25

講師：村上 博美 先生
(千葉県文書館)



明治5年の「学制」発布以降、全国で近代的な小学校教育がスタートし、千葉県内にも従来の寺子屋に変わり、多くの小学校が設立されました。当時の人々は新しい教育制度に困惑しながらも、地域の学務担当者である「学区取締」や「学校事務掛」等を中心に諸問題の解決に当たり、教育環境を整備していったそうです。村上先生の丁寧な史料解説について、受講者から「とても分かりやすかった」との声が多くありました。また、講義終了後も多くの質問者に溢れ大変活気のある一日でした。

村上先生、ありがとうございました。

日露戦争を経験した千葉県の若者

講座前半は、十枝雄三翁の書いた「日露戦争従軍日記」等の個人が残した日記・記録等の史料を読みながら、千葉県を出身とする3名の若者が経験した日露戦争について、講師と受講者が一緒になって考察していきました。十枝翁の日記には戦地での生々しい状況についても記されており、厳しい戦場の様子を知ることができました。

また、講座後半には、史料保存の重要性についての話もあり、現代に生きる我々が先祖の残した歴史をどのように次の世代に伝えていくべきかについて学びました。家から古い書物等が見つかった場合は、安易に捨てずに地域の博物館・資料館等に相談し、みんなで後世に残す努力をしようとのことでした。

久野先生、ありがとうございました。

2023.12.3



講師：久野 一郎 先生
(御宿町月の沙漢記念館 館長)

